

川崎医福大の卒業制作展

知識や技術生かし 課題解決策を形に

倉敷

川崎医療福祉大(倉敷市松島)の医療

福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科4年生による卒業制作展が26日、同市中央の市立美術館で始まった。学んだ知識や技術を生かして15人が課題解決へのアイデアを形にし、パネル、模型、スマートフォン向けアプリといった多彩な約

便秘に悩む子どもが増えているとして「快便」の重要性をアピールする作品は、排せつの仕組みを解説したパネルや便の実寸大模型などからなり、便器や食物繊維を豊富に含む野菜をキャラクターにして描き、親子で関心を持てるよう工夫もしている。教員の審査では最優秀賞(2点)の1点に選ばれた。

クイズ形式で薬の正しい飲み方が分かるア

プリ、病原体を免疫細胞で攻撃して倒すカードゲーム、冊子などもあり、一部は会場で実際に触って楽しめる。3月2日まで。実行委員長を務める原田菜

穂さん(22)は「各作品には、対象となる子どもやお年寄り、患者さんへの思いやり、優しさが詰まっている。ぜひ見に来てほしい」と呼びかけた。(三川創)



快便の重要性をアピールする作品。解説パネルや便の模型が披露されている